

## 4-1-6-7 泌尿器科

### 1. 概要

#### 1.1 施設認定

泌尿器科学会認定施設責任者 上岡克彦

泌尿器科学会指導医 上岡克彦 泌尿器科学会専門医 青木勝也

尿道下裂手術 施設基準適合

### 2. 診療活動

平成 15 年 4 月 1 日から平成 16 年 3 月 31 日までに行われた手術は 283 件、前年度より 77%増加した。

また、手術数の増加のみでなく手術内容も大きく変化しつつある。前年度は尿路系手術が腎摘出術 1 例のみであったのに対し、尿道狭窄手術 19 例、膀胱尿管逆流症防止術 8 例をはじめとして尿路系手術の大幅な増加をみた。さらに国立小児病院時代を含めて行われたことのない、禁制尿路変更術を代表とする尿路再建術（種々の手技の複合により下部尿路機能異常を代償する手術）が行われるようになった。今後もこの傾向加速されると予想される。

いままでも行われてきた手術、例えば尿道下裂修復術も内容が大きく変化した。ほとんどすべての初回手術症例には一次的修復術が行われるようになった。また再建が困難なため放置されていた修復術不能と考えられていた症例に対して口腔粘膜を用いた二次的修復術が導入され良好な成績が得られている。

この領域でも手術対象は増加している。翼状陰茎に対する陰茎形成術や膣欠損症に対する造膣術などである。また、この領域での最も大きな手術内容の変化として女性化外陰部形成術症例に膣尿道をまとめて剥離する Total Urogenital Sinus Mobilization の手技が導入されたことをあげることができる。

以下に主な手術症例数を掲げておく。

#### 性器系手術

精巣固定術	82 例
陰嚢水腫	22 例
精巣捻転	3 例
尿道下裂修復術	66 例
陰茎形成術（翼状陰茎）	10 例
女性化外陰部形成術（先天性副腎皮質過形成）	3 例
造膣術（膣欠損症）	1 例

#### 尿路系

尿道狭窄	19 例
VUR	8 例
巨大尿管	4 例
水腎症	3 例
腎摘出術	2 例
尿管瘤	5 例
尿管尿管吻合	3 例
禁制導尿路	2 例
禁制尿路変更	1 例